

日本リハビリテーション ネットワーク研究会

第9回学術集会 プログラム



大会長

徳洲会グループ リハビリテーション指導部 部長
皆川 晃慶



日時：2009年11月29日（日）
11:00～17:00
場所：日本医科大学橘桜会館

会場（日本医科大学橋桜会館）へのアクセス



1	JR 山の手線	駒込にて地下鉄南北線(四谷方面行き)のりかえ 西日暮里にて地下鉄千代田線(代々木上原方面行き)のりかえ
2	JR 中央・総武線	御茶ノ水にて地下鉄千代田線<新御茶ノ水>(北千住方面行き)のりかえ
3	都営地下鉄・三田線	白山駅下車(A3 出口)より約 760 メートル徒歩約 10 分。向丘一丁目信号左折
4	都営地下鉄・南北線 同	本駒込駅下車(1 出口)より約 630 メートル徒歩約 8 分。向丘一丁目信号左折 東大前駅下車(2 出口)より約 550 メートル徒歩約 7 分。向丘一丁目信号右折
5	営団地下鉄・千代田線 同	千駄木駅下車(団子坂出口)より約 580 メートル徒歩約 7 分。千駄木二丁目信号右折 根津駅下車(1 出口)より約 650 メートル徒歩約 8 分。千駄木二丁目信号左折
6	JR 山の手線 駒込駅前	都バス(茶 51)御茶ノ水駅行 所要時間約 10 分 向丘一丁目下車約 3 分 都バス(茶 51)東京駅北口行 所要時間約 10 分 向丘一丁目下車約 3 分
7	JR 山の手線 御徒町駅下車 上野広小路	都バス(上 58)早稲田行 所要時間約 10 分 千駄木二丁目下車約 3 分

※営団地下鉄南北線をご利用の場合、2番出口をでて、左方向に文京学院大学短大を見ながらすすみ、2番目の信号(向丘1丁目信号)を右折して坂を下り、日本医大前信号を左折して下さい。

＜参加者へのお知らせとお願い＞

I. 参加費について

1. 会 員 1,000 円
2. 非会員 2,000 円

II. 参加受付について

1. 参加受付は10時20分から、日本医科大学橋桜会館・2階橋桜ホール会場入り口にて行います。
2. 参加申込書に氏名、所属等を記入して、参加費を納入して下さい。

III. 会場での注意事項

1. 会場内での呼び出しはいたしません。あらかじめご了承下さい。
2. 会場内への飲食物のお持ち込みはご遠慮願います。
3. 会場内は禁煙となっております。喫煙は会場外の所定の場所をお願い致します。

IV. リハビリテーション関係会社の展示コーナー

1. 2階に展示コーナーを設けてありますので、空いている時間にご覧下さい。

V. その他

1. 昼食は、会場周辺の飲食店をご利用下さい。
2. 会場内には自動販売機がありません。ミネラルウォーター・お茶などの飲み物を用意しておきますのでご利用下さい。

＜演者へのお知らせとお願い＞

1. 演題はすべてPCプレゼンテーションにて口述で行って頂きます。スライド、ビデオ等での発表は出来ません。
2. 受付にて「演者受付」を行います。発表予定時間の20分前までに受付をすませて下さい。
(また座長も20分前までにお越し下さい)
3. 発表予定10分前までには「次演者席」にお着き下さい。
4. 一般演題の発表時間は7分、質疑応答は3分です。対応アプリケーションは、Windows版Power Pointです。操作は演台にて演者ご自身で行って下さい。発表時間終了1分前に「1鈴」、終了時に「2鈴」が鳴ります。
5. 使用パソコン(Windows)は研究集会主催者側で準備致します。

＜学術集会についてのお問い合わせ先＞

日本リハビリテーションセンターネットワーク研究会事務局(草野・黒澤)

〒108-8329 東京都港区三田1-4-3

国際医療福祉大学三田病院 リハビリテーション室内

TEL : 03-3451-8121(代) & FAX : 03-3454-0067(総務課)

E-mail : rehanet@iuhw.ac.jp

当日連絡先 : 日本医科大学 03-3822-2131(代表) 内線(2階ホール:5197)

事務局担当・黒澤 携帯(090-2235-4913)

プログラム

特別講演 (11:00~11:50)

司会

日本リハビリテーションネットワーク研究会 理事長
日本リハビリテーション専門学校 校長

木村哲彦

「主体性を引き出すリハビリテーション」

桜新町リハビリテーションクリニック 院長

長谷川 幹

シンポジウム (13:10~15:00)

『障害者・高齢者の在宅リハビリテーションの課題』

座長・コーディネーター

徳洲会グループ リハビリテーション指導部 部長
桜新町リハビリテーションクリニック 院長

皆川 晃慶
長谷川 幹

1) 短時間型通所リハビリテーションの視点から

霞ヶ関南病院 コミュニティケア部 次長

岡野 英樹

2) 様態別通所リハビリテーションの視点から

一通所リハビリ (半日コース) における活動紹介

在宅リハビリテーション桜新町 通所リハビリ 理学療法士

中島 鈴美

3) 在宅総合リハビリテーションセンターの視点から

在宅ケアセンター元浅草 院長

大西 康史

4) 当事者の視点から

船橋リハビリ友の会 会長

清水 章

<休憩>

一般演題 (15:20~16:40)

[15:20~15:40]

座長 埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション科 准教授 山本 満

1. 頭頸部腫瘍術後の患者における退院後 QOL
国際医療福祉大学三田病院 リハビリテーション室 金澤 均・他
2. 多職種間の連携により介護負担の軽減につながった一症例
かしま訪問看護ステーション 安部ちひろ

[15:40~16:10]

座長 国立身体障害者リハビリテーションセンター病院 看護部長 横田 美恵子

3. 回復期リハビリテーション病棟における看護体制について
—プライマリーナーシングの導入を試みて—
かしま病院看護部 中塚直美・他
4. 対麻痺患者の日常生活動作の実態
埼玉総合リハビリテーションセンター看護部 桑原聡美・他
5. 頸髄損傷者の性に関する調査報告
国立身体障害者リハビリテーションセンター病院 田村玉美・他

[16:10~16:40]

座長 埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科 教授 高倉 保幸

6. バランスボードを用いた高齢者自身によるロボット操作システムの提案
帝京科学大学生命環境学部 宇津木亮祐・他
7. 表面筋電位を用いた前腕動作識別法の適応範囲の検討
拓殖大学大学院工学研究科 西川佳男・他
8. 高齢者セラピー用ロボットの印象に関する調査
筑波学院大学情報コミュニケーション学部情報メディア学科 浜田利満・他